

## 2022年度事業計画

(単位:千円)

助成区分	事業内容	2022年度 予 算	2021年度 予 算	2021年度 推定実績
(1) 児童・少年の 健全育成助成	<物品助成> 地域の人々の協力のもとに、子どもたちが行う自然体験・生活体験活動、仲間づくりや文化の伝承活動、子育て支援活動等を実践している民間の団体・グループに対する助成	128,780	123,980	122,337
	<実践的研究助成> 『子どもを巡る「真のウェルビーイング」の探求』をテーマに、研究者と実践家が協働し、現実の家庭・学校園・地域社会における実践、社会実装を目指す研究に対する助成	20,000	20,000	19,390
		148,780	143,980	141,727
(2) 高齢社会助成	<地域福祉チャレンジ活動助成> 「共に生きる地域コミュニティづくり」へ向けて、地域包括ケアシステムの展開、そして深化につながる活動を行う団体への助成	25,000	25,000	22,880
	<実践的課題研究・若手実践的課題研究助成> 「共に生きる地域コミュニティづくり」へ向けて、助成対象分野・テーマに対する課題を明確にした実践的課題研究への助成および助成対象者を若手研究者に限定した研究への助成			
	<生き生きシニア活動顕彰> 高齢者が主体となって行う地域貢献活動に対する顕彰	10,250	11,450	11,450
		35,250	36,450	34,330
(3) 環境問題研究助成	<学際的総合研究> 募集課題 「人間活動と環境保全との調和に関する研究－陸域・淡水生態系の保全再生と持続可能な利用、気候変動の影響や自然災害に対する適応力の強化－」 に対応する研究への助成	40,000	40,000	40,000
	<若手研究・奨励研究> 「人間性豊かな生活環境の確立」に役立つ着想豊かな研究への助成			

助成区分	事業内容	2022年度 予 算	2021年度 予 算	2021年度 推定実績
(4)出版助成	<環境問題研究助成成果発表出版> 学際的総合研究等の成果発表出版物に対する助成	7,300	6,500	6,500
	<博物館展示案内出版> 博物館展示案内等の刊行に対する助成			
	<学術書出版> 「児童・少年の健全育成」「高齢社会」「環境問題」に関する学術的専門書の出版に対する助成			
(5)シンポジウム ・ワークショップ	<児童・少年> 実践的研究助成の成果発表および討議の場としてワークショップを開催	1,000	2,000	800
	<高齢社会> シンポジウム「高齢社会を共に生きる」ならびにワークショップを開催	7,000	11,000	6,100
	<環境問題研究> 学際的総合研究助成の成果発表および討議の場としてワークショップを開催	1,500	1,500	600
		9,500	14,500	7,500
合 計		240,830	241,430	230,057

対前年度予算	△ 600
--------	-------

## 2022年度収支予算書（正味財産増減方式）

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	122,000,000	123,000,000	△ 1,000,000
基本財産受取利息	122,000,000	123,000,000	△ 1,000,000
特定資産運用益	9,000,000	9,700,000	△ 700,000
助成準備基金等受取利息	9,000,000	9,700,000	△ 700,000
受取寄付金	185,000,000	185,000,000	0
雑収益	0	0	0
<b>経常収益計</b>	<b>316,000,000</b>	<b>317,700,000</b>	<b>△ 1,700,000</b>
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>	<b>366,185,300</b>	<b>379,246,000</b>	<b>△ 13,060,700</b>
助成金	231,330,000	226,930,000	4,400,000
シンポジウム経費	9,500,000	14,500,000	△ 5,000,000
役員報酬	14,400,000	13,500,000	900,000
給料手当	46,000,000	46,650,000	△ 650,000
役員退職給付費用	1,305,000	1,305,000	0
職員退職給付費用	865,800	1,106,000	△ 240,200
福利厚生費	9,700,000	9,700,000	0
通勤交通費	1,984,500	1,970,000	14,500
渉外応接費	0	100,000	△ 100,000
消耗什器備品・消耗品費	3,240,000	3,330,000	△ 90,000
減価償却費	540,000	835,000	△ 295,000
光熱水料費	5,040,000	5,040,000	0
賃借料	14,130,000	14,130,000	0
助成関係費	22,000,000	26,500,000	△ 4,500,000
企画調査費	1,000,000	1,500,000	△ 500,000
その他事業費	5,150,000	12,150,000	△ 7,000,000
<b>管理費</b>	<b>24,641,700</b>	<b>24,245,000</b>	<b>396,700</b>
役員報酬等	4,300,000	4,100,000	200,000
給料手当	7,000,000	7,350,000	△ 350,000
役員退職給付費用	145,000	145,000	0
職員退職給付費用	361,200	332,000	29,200
福利厚生費	1,300,000	1,300,000	0
通勤交通費	315,500	310,000	5,500
会議費	4,000,000	3,500,000	500,000
渉外応接費	600,000	500,000	100,000
通信運搬費	570,000	575,000	△ 5,000
消耗什器備品・消耗品費	360,000	370,000	△ 10,000
減価償却費	60,000	93,000	△ 33,000
印刷製本費	0	30,000	△ 30,000
光熱水料費	560,000	560,000	0
賃借料	1,570,000	1,570,000	0
雑費	3,500,000	3,510,000	△ 10,000
<b>経常費用計</b>	<b>390,827,000</b>	<b>403,491,000</b>	<b>△ 12,664,000</b>
評価損等調整前当期経常増減額	△ 74,827,000	△ 85,791,000	10,964,000
特定資産評価損益等	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 74,827,000</b>	<b>△ 85,791,000</b>	<b>10,964,000</b>

科目	予算額	前年度予算額	増減
<b>2. 経常外増減の部</b>			
（1）経常外収益	0	0	0
（2）経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 74,827,000	△ 85,791,000	10,964,000
一般正味財産期首残高	1,260,137,000	1,309,767,000	△ 49,630,000
一般正味財産期末残高	1,185,310,000	1,223,976,000	△ 38,666,000
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>			
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000,000	10,000,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000,000	10,000,000,000	0
<b>III. 正味財産期末残高</b>	<b>11,185,310,000</b>	<b>11,223,976,000</b>	<b>△ 38,666,000</b>

\*受取寄付金は、日本生命保険相互会社の決算確定後(2022年7月)に寄附依頼予定